

科目ナンバー： 研究・CNS：MC5013／助産：MmC5013

授業コード： 6630500100

講義科目名称： 成人看護学特論

英文科目名称： Adult Health Nursing

| | | | |
|-----------------|-------|-----|--------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 前期 | 1・2学年 | 2単位 | 選択 |
| 担当教員 | | | |
| ◎高柳智子、小林綾子、石井角保 | | | |
| 添付ファイル | | | |

| | | | | |
|------|-------------------|----------------|-------|---------------------------|
| 授業種類 | 【開講】 前期 | 【授業時間】 30時間 | | |
| | 【担当教員】 | | | |
| | 【氏名】 | 【所属】 | 【研究室】 | 【メールアドレス】 |
| | ◎高柳 智子 | 新潟県立看護大学 | 203 | takatomo@niigata-cn.ac.jp |
| | 小林 綾子 | 新潟県立看護大学 | 205 | otsuka@niigata-cn.ac.jp |
| | 石井 角保 | 新潟県立看護大学 | 321 | sishii@niigata-cn.ac.jp |
| | 【大学の科目区分】 専門分野 | | | |
| | | 【DP1】 | 【DP2】 | 【DP3】 |
| | 研究 | ◎ | ○ | ○ |
| | CNS | | | |
| | 助産 | | | |

| | |
|------|---|
| 到達目標 | 1. 健康障害をきたした成人期にある人々とその家族への看護援助の基本となる概念および理論を説明できる。 2. 臨床ガイドラインの批判的吟味を通して、健康障害をきたした成人期にある人々へのエビデンスに基づいた看護援助を論述できる。 |
| 授業概要 | 健康障害をきたした成人期にある人々とその家族への看護援助の基本となる概念および理論を学ぶ。さらに臨床ガイドラインの作成過程と活用方法を学び、健康障害をきたした成人期にある人々へのエビデンスに基づいた看護援助を探究する。 |

| | | |
|------|---|---|
| 授業計画 | 1 | 授業内容 授業形態：講義 学修課題：ガイダンス、ライフサイクルからみた成人期 学修内容：学習の進め方 漸成発達論 発達と教育 事前学修：授業で取り上げるテーマの関連文献を読み、討議できるよう疑問点等をまとめておく 事後学修：授業で得た理解の深まりや自身の関心領域への適用についてまとめる 備考：高柳 |
| | 2 | 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：成人看護学における理論と基本概念 1 学修内容：アンドロロジー 事前学修：授業で取り上げるテーマの関連文献を読み、討議できるよう疑問点等をまとめておく 事後学修：授業での討議で得た理解の深まりや自身の関心領域への適用と課題についてまとめる 備考：小林 |
| | 3 | 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：成人看護学における理論と基本概念 2 学修内容：危機理論 事前学修：授業で取り上げるテーマの関連文献を精読し、プレゼンテーションできるよう準備しておく 事後学修：授業での討議で得た理解の深まりや自身の関心領域への適用と課題についてまとめる 備考：高柳 |
| | 4 | 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：成人看護学における理論と基本概念 3 学修内容：自己効力感 事前学修：授業で取り上げるテーマの関連文献を読み、プレゼンテーションできるよう準備しておく 事後学修：授業での討議で得た理解の深まりや自身の関心領域への適用と課題についてまとめる 備考：小林 |
| | 5 | 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：成人看護学における理論と基本概念 4 学修内容：ストレスコーピング 事前学修：授業で取り上げるテーマの関連文献を精読し、プレゼンテーションできるよう準備し |

| | |
|----|---|
| 6 | <p>ておく 事後学修：授業での討議で得た理解の深まりや自身の関心領域への適用と課題についてまとめる 備考：高柳</p> <p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：成人看護学における家族看護1 学修内容：家族看護モデルの概念 事前学修：授業で取り上げるテーマの関連文献を精読し、プレゼンテーションできるよう準備しておく 事後学修：授業での討議で得た理解の深まりや自身の関心領域への適用と課題についてまとめる 備考：小林</p> |
| 7 | <p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：成人看護学における家族看護2 学修内容：家族看護モデルの適用 事前学修：自身の関連領域における家族看護に関する論文を1つ選びプレゼンテーションできるよう準備しておく 事後学修：授業での討議で得た理解の深まりや今後の学修課題についてまとめる 備考：小林</p> |
| 8 | <p>授業内容 授業形態：講義と討議 学修課題：臨床ガイドラインの活用と評価1 学修内容：臨床ガイドラインの作成過程と活用方法 事前学修：前もって提示された資料や参考図書を活用して概要を学んでおく。 事後学修：授業内容を理解して説明できるようにする。 備考：石井</p> |
| 9 | <p>授業内容 授業形態：講義と討議 学修課題：臨床ガイドラインの活用と評価2 学修内容：臨床ガイドラインの評価 事前学修：前もって提示された資料や参考図書を活用して概要を学んでおく。 事後学修：授業内容を理解して説明できるようにする。 備考：石井</p> |
| 10 | <p>授業内容 授業形態：講義と討議 学修課題：臨床ガイドラインの批判的検討と看護適用1 学修内容：システマティックレビューとメタ分析 事前学修：授業で取り上げるテーマの関連文献を精読し、プレゼンテーションできるよう準備しておく 事後学修：授業での討議で得た理解の深まりや今後の学修課題についてまとめる 備考：高柳</p> |
| 11 | <p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：臨床ガイドラインの批判的検討と看護適用2 学修内容：関心領域の臨床ガイドラインの動向 事前学修：自身の関心領域の臨床ガイドラインを概観し、動向についてプレゼンテーションできるように準備しておく 事後学修：授業での討議で得た理解の深まりや今後の学修課題についてまとめる 備考：高柳</p> |
| 12 | <p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：臨床ガイドラインの批判的検討と看護適用3 学修内容：関心領域の臨床ガイドラインの講読① 事前学修：自身の関心領域の臨床ガイドラインを1つ選び、プレゼンテーションできるよう準備しておく 事後学修：授業での討議で得た理解の深まりや今後の学修課題についてまとめる 備考：高柳</p> |
| 13 | <p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：臨床ガイドラインの批判的検討と看護適用4 学修内容：関心領域の臨床ガイドラインの看護適用 事前学修：自身の関心領域の臨床ガイドラインを1つ選び、プレゼンテーションできるよう準備しておく 事後学修：授業での討議で得た理解の深まりや今後の学修課題についてまとめる 備考：高柳</p> |
| 14 | <p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：臨床ガイドラインの批判的検討と看護適用5 学修内容：関心領域の臨床ガイドラインの限界と今後の展望 事前学修：11回～13回の学修から 関心領域の臨床ガイドラインの限界と今後の展望についてプレゼンテーションできるよう準備しておく 事後学修：授業での討議で得た理解の深まりや今後の学修課題についてまとめる 備考：高柳</p> |
| 15 | <p>授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：まとめ 学修内容：既習の振り返りとともに、自己の関心テーマとの関連づけを行う 事前学修：本科目の到達目標の到達度を自己評価し、まとめておく 事後学修：授業での討議で得た学びと今後の学修課題についてまとめる 備考：高柳 小林</p> |

| | |
|-----------------|--|
| 事前・事後学習 | |
| 評価方法、評価基準 | 到達目標1～2について、プレゼンテーション内容50%、討議内容50%により評価する。 |
| テキスト | 最新の文献を使用するため、現時点では指定せず授業時に案内する。 |
| 参考図書・資料等 | 適宜、紹介する。 |
| 受講、課題、資料配布等のルール | 初回授業時に説明する。 |
| 教員からのメッセージ | プレゼンテーションや討議を中心に授業を進めていきますので、主体的な参加を期待します。 |
| オフィスアワー | 在室時、可能な限り対応(事前にメール等での予約が確実) |